



平成 24 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

当社子会社の連結子会社による

カンボジアでの事業開拓として GL Finance PLC.社

の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

この度、当社子会社（株）ウェッジホールディングスの連結子会社でありタイにおいてファイナンス事業を展開する Group Lease Public Company Limited(以下GL社とします)の取締役会において、GL Finance PLC.(以下GLF社とします)の株式を取得することを決定いたしましたのでお知らせいたします。GLF社はカンボジア国立銀行からカンボジア史上初のリース免許を取得しており、現在、カンボジア王国において唯一の同ライセンスを保有する企業でもあります。

GLF社は、カンボジア王国にて2012年3月に設立されております。同社の中核事業はカンボジアにおいて、ホンダ社製のオートバイの顧客に対して、分割払いによる購入を提供する事業となっております。ホンダ車は、カンボジアのオートバイ市場においてほぼ独占企業であり、GLF社は、現在カンボジアで35箇所まで拡大しているホンダ正規ディーラーにおいてリース商品の販売を行うことができる独占権をAPFグループの協力により獲得しております。

1. 取得の目的

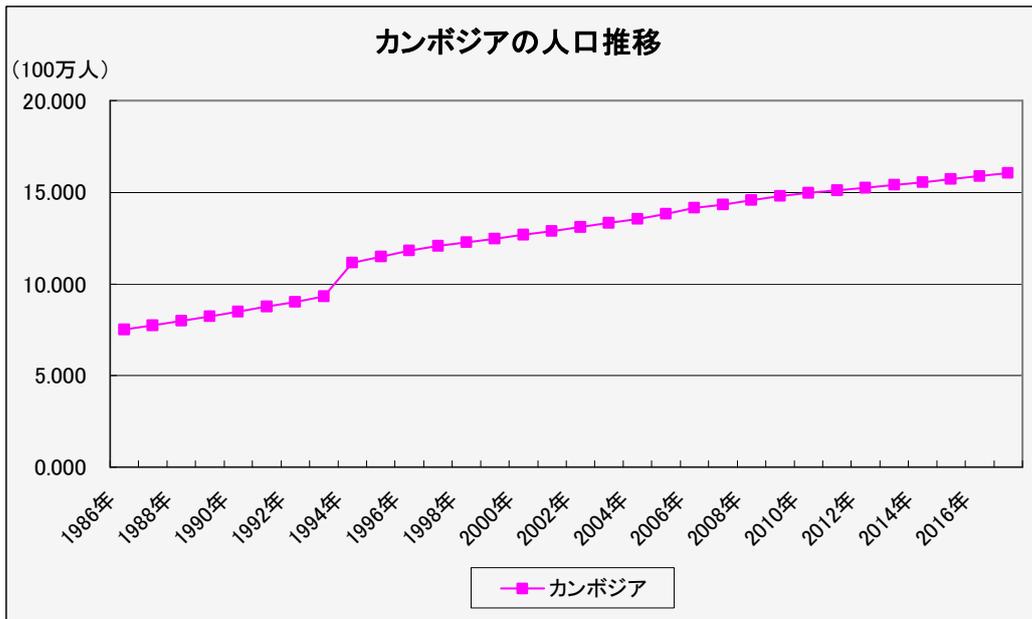
GLF社の取得の目的としましては、GL社が既に発表しておりますARFC（ASEAN Regional Finance Company）Visionに基づき、GL社の高収益事業モデルをアセアン全域にて拡大することにあります。（ARFC Visionの詳細につきましては、次のURLをご参照ください。 http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i201203292.pdf）

現在、カンボジアでは、約1,500万人の人口に対して新規オートバイ年間約20万台が販売されております。一方、タイでは、約6,600万人の人口に対して新規オートバイ年間約200万台販売されております。カンボジアの市場規模はタイのそれと比べると小さいと言えます。しかしながら、GL社といたしましては、カンボジア市場を最も有望な市場の一つと考えており、ARFCを目指す同社にとって、最初に進出する市場として、カンボジア市場が最も適切であると判断しております。その根拠は以下の3つの点にあります。

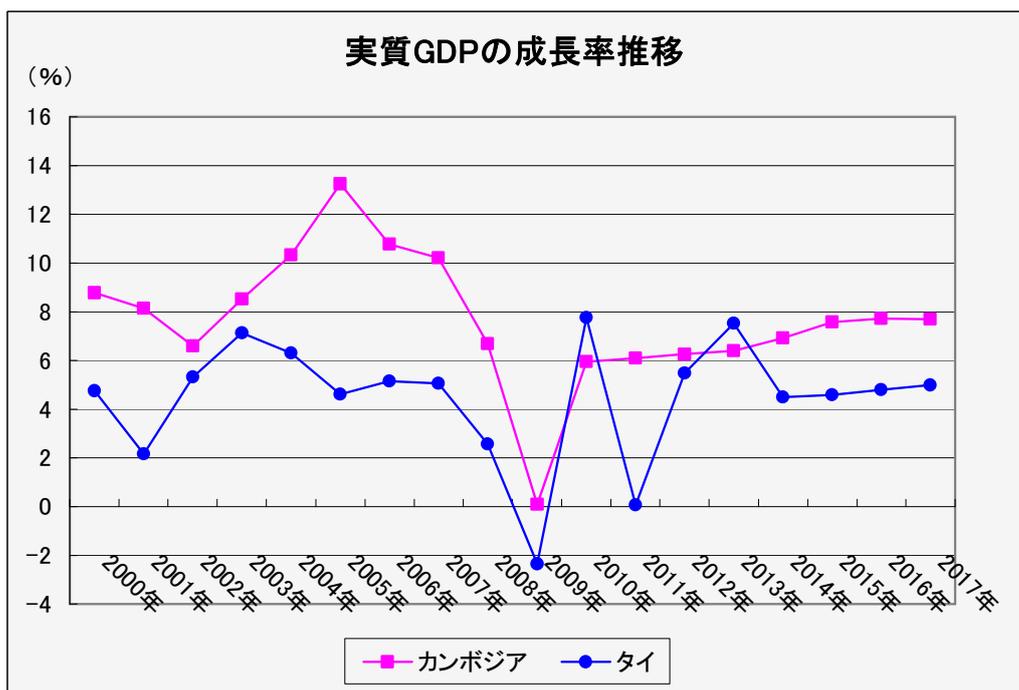
- ① 成長市場
- ② 低競争市場
- ③ GL 社ビジネスモデル

①成長市場

カンボジアの人口は年々増加しており、しかも急速な所得増加を伴っております。特に人口の中で 20 歳以下人口が約 45%を占めており潜在顧客が非常に多いと言えます。現時点においては、タイでは、2 人に 1 人の割合でオートバイを保有していると言われておりますが、カンボジアでは、まだ 8 人に 1 人の保有割合と言われております。



更にカンボジアの経済自体が 21 世紀になってからも高い成長を示しています。1991 にカンボジア内戦が終了し、現在まで 20 年以上、平和の配当が続いており、経済成長が実現されております。カンボジアはタイとベトナムの間に位置し、潜在的に豊かな農業国であり、その経済基盤は十分に強固であり投資価値があるといえます。



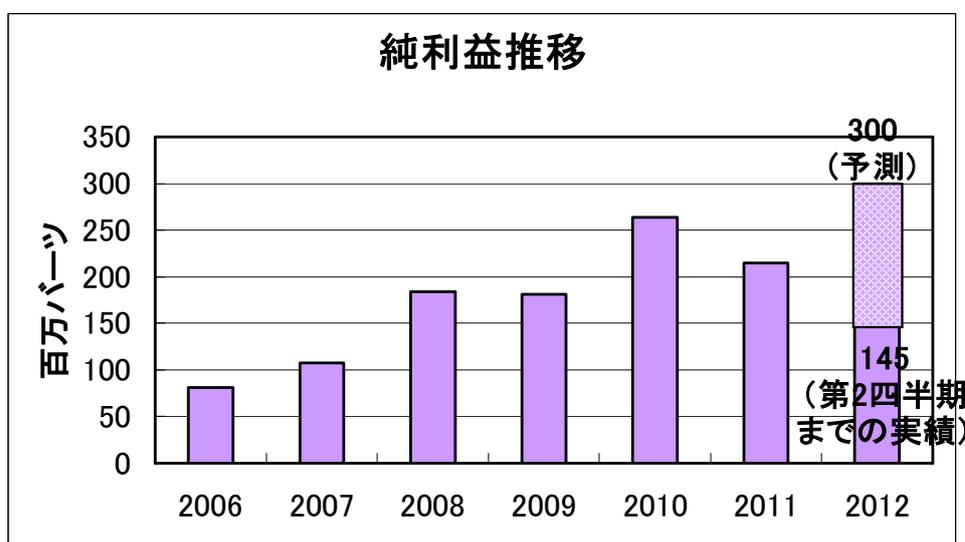
②低競争市場

GLF 社は、設立間もない会社ではありますが、カンボジア国立銀行からリース業免許を受けた初めてのリース会社となっており、また現時点においても、唯一のリース会社であることから GLF 社は、カンボジアにおけるリース事業の開拓者といえます。

更に、GLF 社はカンボジアで 35 箇所にも広がっているホンダ正規ディーラー内においてリース商品を販売することができる独占権を保有しています。先述の通り、カンボジアのオートバイ市場は、ホンダ車がほぼ独占している市場であり、直接的な競合が存在していないため、事業拡大の大きな可能性があります。

③GL 社ビジネスモデル

GL 社は、すでに 26 年間タイでオートバイファイナンス事業を展開してきましたが、2012 年第 2 四半期に契約数及び売上高において、更に過去最高記録を更新するなどタイにおいても、いまだ事業を拡大しております。同ビジネスモデルは、カンボジアでも事業拡大を行える競争力があると考えております。



上記 3 点の理由により、GLF 社はタイの GL 社自身よりも高収益をだせる可能性があると考えております。また、カンボジアの人々がオートバイを保有することで、より便利で快適な生活ができ、カンボジアの人々の生活向上に貢献できると考えております。

以上により、GL 社は、GLF 社の取得を決定いたしました。GL 社取締役会は、本決定は、株主の皆様にとっても最良の選択として考えており、カンボジアの人々の生活向上と株主利益の増大に貢献するものと考えております。

2. 新たに取得する子会社 (GLF 社) の概要

(1)	名 称	GL Finance PLC.
(2)	所 在 地	No. 270-274, Kampuchea krom Blvd, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia
(3)	代 表 者	Mr. Worasak Kriengkamol
(4)	事 業 内 容	Financial Leasing
(5)	資 本 金	USD 200,000
(6)	設 立 年 月 日	2012 年 3 月 14 日

3. 取得株式数、取得金額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0 株 (所有割合 0%)
(2)	取得株式数	998 株 (取得金額 1,113,932USD)
(3)	異動後の所有株式数	998 株 (所有割合 99.8%)

4. 日 程

(1)	GL 社取締役会決議	2012 年 8 月 22 日
(2)	株券引渡期日	2012 年 10 月 1 日

5. 今後の見通し

当社といたしましては、GL 社の ARFC (ASEAN Regional Finance Company) Vision に基づくカンボジア進出及び、GLF 社の取得に関しましては全面的に賛同し、今後の同社の事業の成長に大きく期待しております。業績見通しにつきましては、GLF 社も設立間もない会社でもありますので、現時点では据え置きとさせていただきますが、今後公表すべき状況となりましたら皆様にご報告させていただきます。

当社グループのファイナンス事業戦略 (ARFC (ASEAN Regional Finance Company) Vision) は順調に進行しており、必ずや株主の皆様の利益に資するものと考えております。業績の益々の伸張に向け、役職員一同邁進して参りますので、今後ともご理解、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

以上

プノンペン市 Kampuchea Krom Rd.
にある GLF 社のオフィス



カウンターでの接客

モニボン通りにあるホンダショールームでの第 1 号支店



ホンダ NCX 社の創業場所を譲り受けて GLF 社を設立。NCX Co., Ltd. はカンボジアにおけるホンダ車の独占製造販売権を持つ企業です。



GLF 社事業は現地カンボジア人と、日本人が協力して作り上げる。



GLF 社の顧客第 1 号

カンボジア国立銀行からのライセンス授与



当社会長此下益司自ら陣頭指揮



カンボジアの通りにはたくさんのオートバイが走っている